

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【公開番号】特開2013-43069(P2013-43069A)

【公開日】平成25年3月4日(2013.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-011

【出願番号】特願2011-185336(P2011-185336)

【国際特許分類】

A 47 K 3/28 (2006.01)

【F I】

A 47 K 3/22

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月18日(2013.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに独立した第一散水孔と第二散水孔とが形成され、前記第一散水孔はシャワーへッド本体の流路と連通し、前記第二散水孔の一次側には、シャワーへッド本体の流路に連通可能な通水孔と、前記通水孔及び前記第二散水孔に連通する空気混合室が設けられ、前記空気混合室には外気と連通する空気孔が設けられたことを特徴とするシャワーフェイス。

【請求項2】

第一シャワーフェイスと第二シャワーフェイスとが、それぞれ別体に形成され、前記第一散水孔が前記第一シャワーフェイスに設けられ、前記第二散水孔が前記第二シャワーフェイスに設けられたことを特徴とする請求項1に記載のシャワーフェイス。

【請求項3】

前記第一散水孔が底面視外側に、前記第二散水孔が底面視内側に配設されたことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のシャワーフェイス。

【請求項4】

前記第二散水孔が底面視外側に、前記第一散水孔が底面視内側に配設されたことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のシャワーフェイス。

【請求項5】

前記空気孔の開口面積を可変可能にする可変手段を備えたことを特徴とする請求項1から請求項4のいずれかに記載のシャワーフェイス。

【請求項6】

前記した請求項1から請求項5のいずれかに記載のシャワーフェイスを備えたことを特徴とするシャワーへッド。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図10】

